

序

“紙パルプ製造技術全書”は昭和41年7月～昭和53年8月に初版を発行して以来、必要に応じて、個別に増補、改訂を重ねてきましたが、近年の技術革新の進展および市場動向の変化は著しく、紙パルプの分野においても大きな変化が現れてきましたので、各巻の構成を含めて全面的に見直しを行い、“紙パルプ製造技術シリーズ”としてより充実した内容で改訂版を発行することになりました。

本書の内容は工場で紙パルプ製造に従事する方々、工場管理、製品販売、資材調達などに従事する方々の参考となるように編集されており、社内教育や学校教育など様々な目的に利用し易いように、紙パルプ製造技術入門も新たに追加いたしました。

本シリーズは全11巻で構成されており、

- 第1巻『クラフトパルプ』
- 第2巻『メカニカルパルプ』
- 第3巻『パルプの洗浄・精選・漂白』
- 第4巻『古紙パルプ』
- 第5巻『紙料の調成』
- 第6巻『紙の抄造』
- 第7巻『仕上』
- 第8巻『コーティング』
- 第9巻『紙パルプの試験法』
- 第10巻『紙パルプ計装・制御システム』
- 第11巻『紙パルプ製造技術入門』

となっております。

第5巻『紙料の調整』、第10巻『紙パルプ計装・制御システム』の2巻は平成4年4月に、第8巻『コーティング』は平成5年8月に発行済みです。今回発行の第9巻『紙パルプの試験法』は数

年前から多くの人々から“何時発行されるのか？”と問い合わせの多かった人気巻です。

本書はより実的な立場からまとめてほしいとの協会からの要望により、日頃、試験・測定に従事し、経験豊富な諸氏に煩わせることとし、当研究所製紙研究部横溝秀尚氏に取りまとめの労をわずらわせ、各分野の専門従事者が責任をもって執筆してきたものです。さらに板紙、ダンボールについては専門的知識をお持ちの、本州製紙中央研究所の方に御執筆を依頼し、第5章、第6章がまとめられました。

ここに、以上のいきさつを記して、多忙な業務の傍らでご執筆された執筆者の方々、本書の出版にご尽力いただいた出版委員会委員の方々、並びに編集など大変ご努力いただいた技術協会の丸茂憲二氏に対して心から感謝申し上げますと共に、この書が広く利用されることを希望する次第であります。

平成7年5月

紙パルプ技術協会出版委員会委員長

大蔵省印刷局研究所副所長

中野 幸夫